

## 知っていますか

ここでは、普段よく見かけたり聞いたりするものの、よく知られていないものや誤解されているものの中から、線状（点状）ブロックや補助犬、点字、手話を取り出して説明します。これを機会に、点字や手話を覚え、ボランティアをしてみたいかがでしょう。

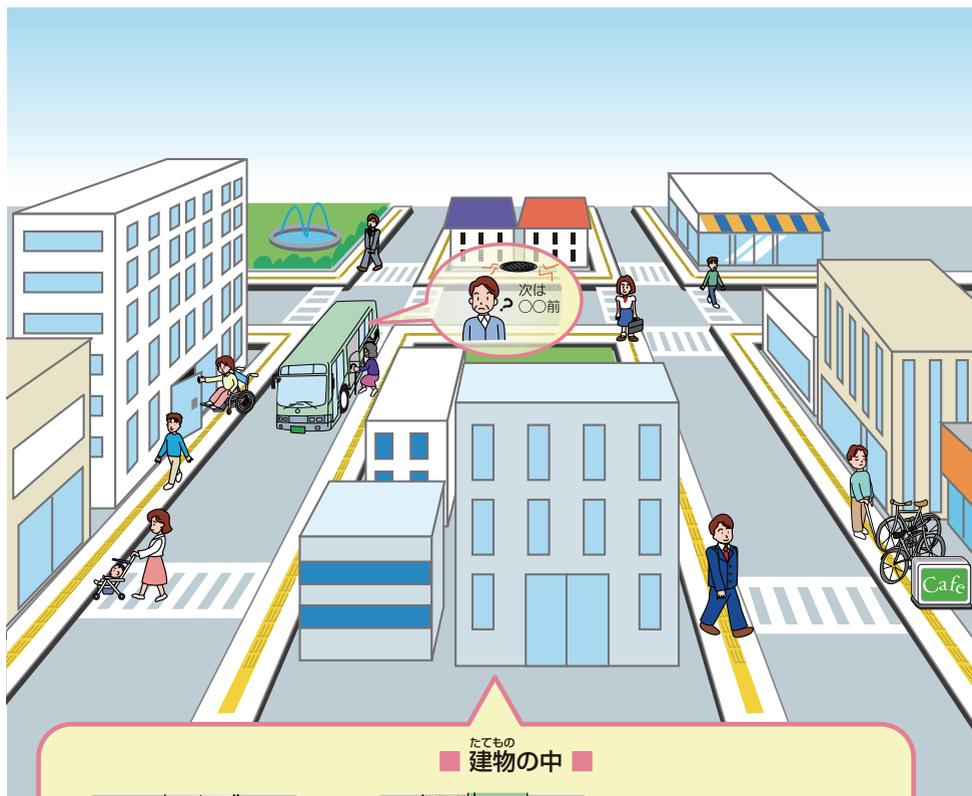
### バリアフリー

高齢の人や障害のある人などが生活をする上で不便を感じているもの（バリア）を取り除いて、だれもが住みやすい生活環境をつくることをいいます。

バリアフリーでは、建物の出入口や道路の段差などの「物理的バリア」を取り除くだけでなく、高齢の人も若い人も、障害のある人もない人もすべての人がお互いの理解を深めて、「心のバリア」を取り除くことが大切です。

# バリアフリーのまち

まちの中の不便なところはどこか考えてみよう。

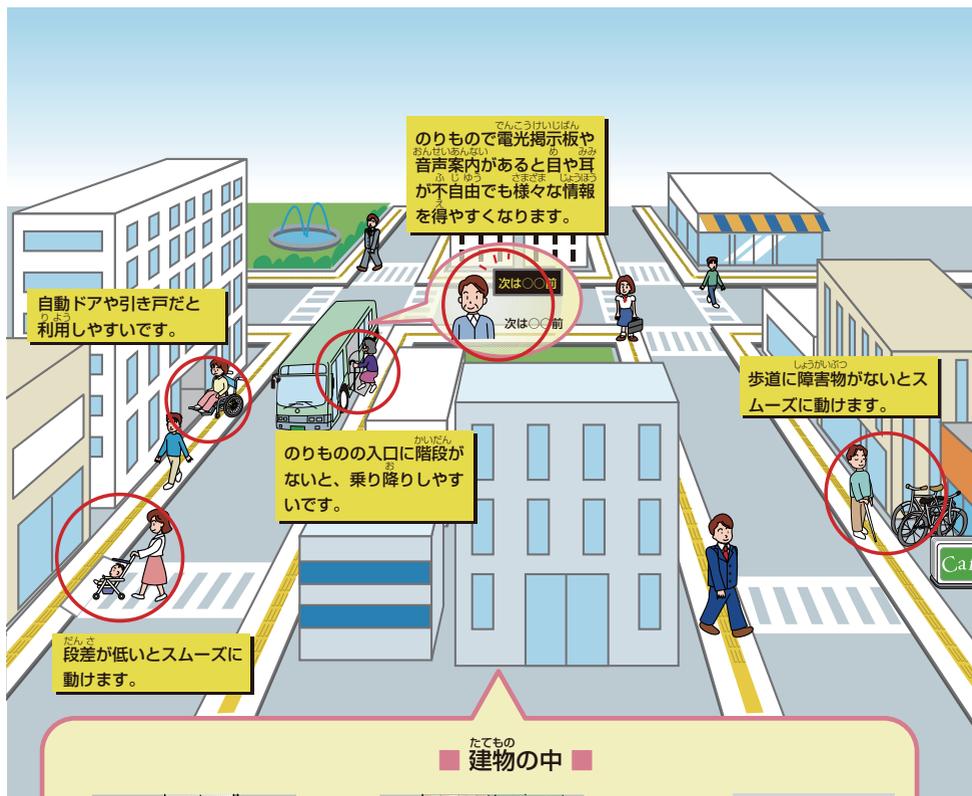


たてもの  
建物の中



(こたえは次のページにあります。)

どんな不便なところを見つけましたか。



ボタンが低いところがあると、車いすに乗った人や子どももボタンが押しやすいです。



入り口に段差がなく、ドアや内部が広く、手すりつきの洋式便座のあるトイレはだれもが利用しやすいトイレです。



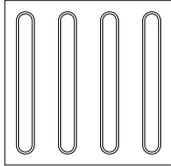
階段には手すりやすべりどめがあると安全です。

# 線状(点状)ブロック

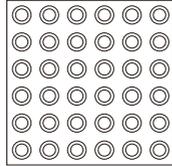
せんじょう てんじょう  
線状(点状)ブロックは、目の不自由な人が通路やろう下などを安全に安心して歩けるように誘導したり、注意をうながしたりするために設けるブロックです。色は、しやくし弱視の人にもわかるように周囲の色との違いがわかりやすい色になっています。



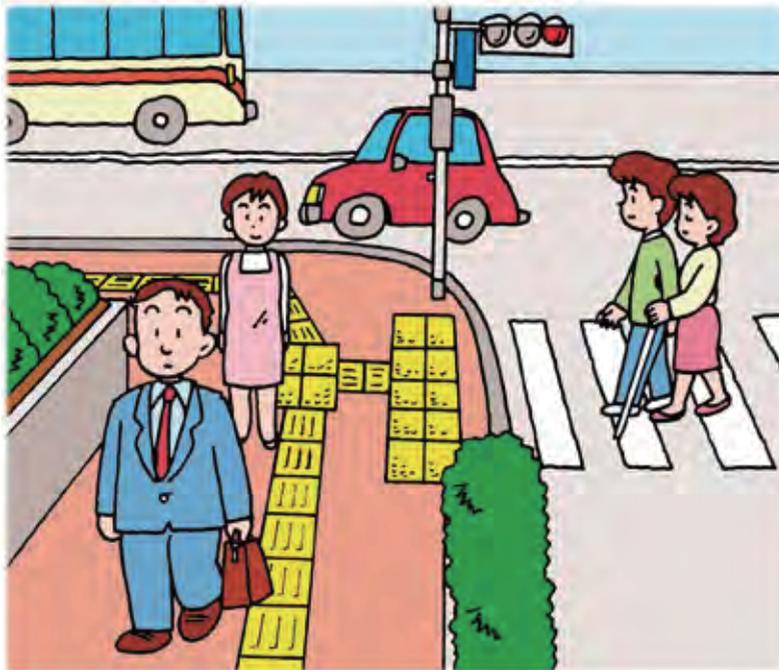
せんじょう  
線状のブロックは、歩行方向を案内しています。



てんじょう  
点状のブロックは、方向てんかんや注意が必要ない位置などを案内しています。



- こんなことしていませんか。目の不自由な人がケガをしてしまいます。



# 補助犬

補助犬とは、目や耳、手足の不自由な人を手助けるもうどうけん盲導犬・ちようどうけん聴導犬・かいじょけん介助犬のことで

す。盲導犬…階段があることなどを、目の不自由な人に知らせ、安全に歩けるよう手助けする犬のことです。

聴導犬…電話やインターホンなどの音を聞きつけて、耳の不自由な人に知らせる犬のことです。

介助犬…落としたものを拾うなど、手足の不自由な人の日常生活を手助ける犬のことです。

補助犬は訓練され、しつけられていますので、ほえたり、かみついたりすることはありません。また、排せつについてもしつけられていますので、利用する施設を汚すことはありません。

補助犬が胸輪（ハーネス）をしているときは、仕事をしているときです。声をかけたり、なでたり、食べ物をあたえたりしないでください。



●補助犬は、胸輪（ハーネス）をしています。



●補助犬は、しつけられています。



●仕事中の補助犬に食べ物をあたえてはいけません。

# 点字

あ い う え お

か き く け こ

さ し す せ そ

た ち つ て と

な に ぬ ね の

は ひ ふ へ ほ

ま み む め も

や ゆ よ

ら り る れ ろ

わ を ん

はつおんぶ  
(撥音符)

そくおんぶ  
(促音符)

ちようおんぶ  
(長音符)

が ぎ ぐ げ ご

ざ じ ず ぜ ぞ

だ ぢ づ で ど

ば び ぶ べ ぼ

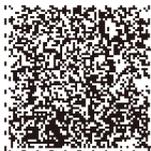
ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

# 音声コード

紙がしゃべる？



- この四角形の模様のことを「音声コード」といいます。1辺が約2cmの四角形の中に約800文字の情報が記録されています。

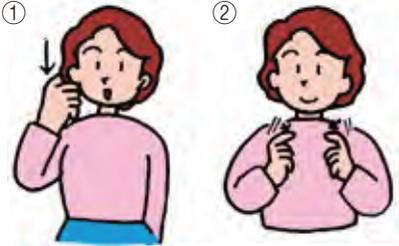


- 「音声コード」を読むためには、左の写真のような活字文書読み上げ装置が必要です。

# 手話

## おはようございます

- ①握りこぶしを右こめかみにあて、あごのあたりまでひきおろし
- ②向かい合わせた人指し指をおる



## ありがとうございます

左手甲に直角にのせた右手を上あげる



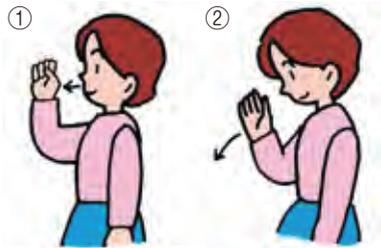
## 手助けして下さい

- ①握りこぶしの甲を前から2回ほどたたく
- ②右手を顔の中央から下へおろす



## よろしくお願ひします

- ①握りこぶしを鼻から前に出して
- ②右手を顔の中央から下へおろす



## わかりました

右手を胸にあてておろす



## わかりません

右手で右胸を払いあげる



手話についてもっと知りたい方は、

# 障害者優先トイレ・多機能トイレ

入口に段差がなく、ドアや内部が広く、手すり付きの洋式便座があるトイレは、車いすを使用している人だけでなく、高齢者や妊娠中の人、体の不自由な人など、一般のトイレを使いづらい人が優先的に使えるトイレです。

ベビーベッドや介護ベッドを設置して多目的トイレと表示していることもあります。

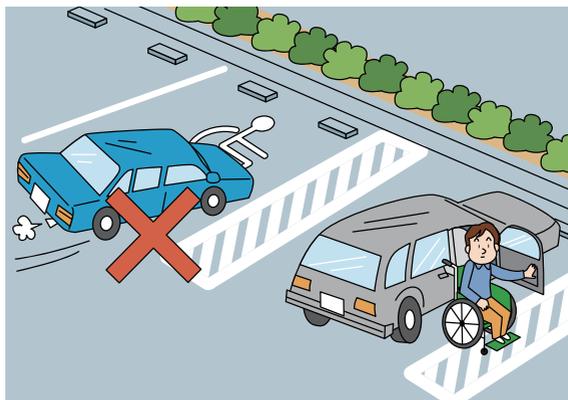


## ちゆうしゃじょう 車いすマーク駐車場

車いすマーク駐車場は、一般の駐車場より幅が広く、建物の入口の近くににあります。車に乗りおりするためにドアを大きく開けることができ、車と建物とのきよりが短くなっているため、車いすを使用している人や体の不自由な人などが便利に使うことができます。「だれも止めていないから」と車を止めている人を見かけませんか？ でも、その場所を必要としている人がいます。



車いすマーク  
(国際シンボルマーク)  
※15ページにマーク  
の説明があります。



駐車場



# ゆずりあい駐車場利用制度

ゆずりあい駐車場利用制度は、車いすマーク駐車場を必要としている人が、より使いやすく、安心して使えるようにした制度です。

車いすを使用している人、体の不自由な人、妊娠中の人など、歩くことが大変な人が宮城県に申し込むことで、利用証を受け取ることができます。

この制度に協力している施設の駐車場の中には、制度の対象区画であることを示すマークがあり、この区画を利用する場合は利用証を車内に掲示します。

そうすることで、この区画を必要としていることをまわりに知らせることができます。



**ゆせんくかく**  
**〈車いす使用者優先区画〉**

歩くことが大変な人で、車の乗りおりに幅広いスペースを必要とする人のための区画です。



**くかく**  
**〈ゆずりあい区画〉**

歩くことが大変な人のために施設出入口付近に設置された普通の幅の区画です。





ゆずりあい区画

**りようしょう**  
**〈利用証〉**



〈車いす使用者用〉



〈車いす使用者以外用〉

りようしょう ちゅうしゃ  
利用証は、駐車した後に車内のルームミラーにひっかけるなどして掲示します。

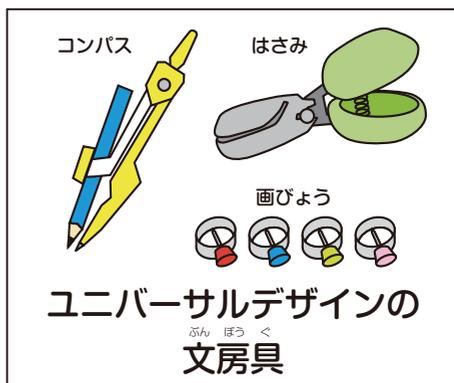
# ユニバーサルデザイン

バリアフリーとは、「物理的<sup>ぶつりてき</sup>なバリア」や「心のバリア」などいろいろなバリアを取り除いて、だれもが住みやすい生活環境<sup>かんきよう</sup>をつくることですが、すべての人のためのデザインという意味のユニバーサルデザインという言葉も使われています。

バリアフリーとユニバーサルデザイン<sup>ちが</sup>の違いは、たとえばバリアフリーは階段<sup>かいだん</sup>のわきにスロープを付けて、高齢<sup>こうれい</sup>の人や障害<sup>しょうがい</sup>のある人でも、使いやすいようにしたのですが、ユニバーサルデザインは始めから階段<sup>かいだん</sup>や段差<sup>だんさ</sup>を作らないで、平らな地面<sup>ちめん</sup>のまま、だれでも利用<sup>りよう</sup>しやすいようにするものです。

どちらも、だれもが住みよいまちや、使いやすいものを目指しています。みなさんの周りにも、ユニバーサルデザインを取り入れたものがたくさんありますから、いろいろ探<sup>さが</sup>してみましょう。

## たと 例えば…



# 障害者等に関するマーク

しょうがいしゃ かん  
障害者等に関するマークには、次のようなものがあります。

	<p><b>身体障害者標識</b>  <small>しんたいしょうがいしゃりょうしき</small></p> <p>手足の不自由な人が運転している自動車につけるマークです。このマークをつけた自動車に無理な幅寄せや追いこしをすると交通違反になります。</p>
	<p><b>聴覚障害者標識</b>  <small>ちようかくしょうがいしゃりょうしき</small></p> <p>耳の不自由な人が運転している自動車につけるマークです。このマークをつけた自動車に無理な幅寄せや追いこしをすると交通違反になります。</p>
	<p><b>国際シンボルマーク(車いすマーク)</b>  <small>こくさい</small></p> <p>障害のある人々が利用しやすい建築物、施設であることを示す国際的な標準マークです。  <small>しょうがい</small> <small>りよう</small> <small>けんちくぶつ</small> <small>しせつ</small>  <small>こくさいてき</small> <small>ひようじゆん</small>  <small>しょうがいしゃ</small> <small>たいしやう</small>  このマークは、すべての障害者を対象としています。</p>
	<p><b>ほじょ犬マーク</b>  <small>けん</small></p> <p>身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)が公共の施設や交通機関、民間施設(デパートやホテルなど)に障害のある人といっしょに入ることができることを知ってもらうためのマークです。  <small>しんたいしょうがいしゃ</small> <small>ほじょけん</small> <small>もうどうけん</small> <small>かいじょけん</small> <small>ちようどうけん</small> <small>こうきやう</small> <small>しせつ</small>  <small>きかん</small> <small>しせつ</small> <small>しょうがい</small></p>
	<p><b>ヘルプマーク</b></p> <p>人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見からは分からなくても配慮や手助けを必要としている方が身につけるマークです。  <small>じんこうかんせつ</small> <small>しやう</small> <small>ないぶしょうがい</small> <small>なんびやう</small>  <small>がいけん</small> <small>はいりよ</small> <small>て</small> <small>たす</small> <small>ひつやう</small></p>
	<p><b>オストメイトマーク</b></p> <p>人工こう門・人工ぼうこうを使用している方(オストメイト)のための設備があることを表しています。  <small>せつび</small></p>
	<p><b>ハート・プラスマーク</b></p> <p>心臓やじん臓などの内臓に障害のある人を表現しているマークです。外見からは分かりにくい身体内部の障害のある人への理解を深めるために、このマークの普及が進められています。  <small>しんぞう</small> <small>ぞう</small> <small>ないぞう</small> <small>しょうがい</small> <small>ひやうげん</small>  <small>りかい</small> <small>ふきやう</small></p>